LIP in HIRAKATA

ＬＩＰ（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

２０１９年１月号

ヘアドネーション体験記！　（Ｐ４に記事）

- [作家 鶴島緋沙子のもぐらの目 65］またもや新年
- マンガ「明るい自閉症講座」5♪
- 「作らずにはいられない」(11)　電光掲示板
- わたしの「ヘアドネーション」体験記！
- 秀作エッセイ　黄色いカラス
- 今月の五行歌
- 原発賠償京都訴訟控訴審第１回期日の傍聴に行きました。
- イベント紹介　編集局より／ＬＩＰ配布場所／会計報告

「**ＬＩＰ編集局**」　http://www.love-dugong.net/lip/

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913(18 時以降)

郵便振替口座　00920-8-120259（ＬＩＰ編集局）

LIP とは……Local Information Paper の頭文字をとったものです。

「もぐらの目」～六十五～

鶴島緋沙子

またもや新年

夜明けに浪速を出てから何百里、やっと辿り着いた。ここは天下の都、江戸は銀座のど真ん中。お上りさんの私に東京で一番分かりやすい待ち合わせ場所をと友人がここ、三越百貨店の正門前を選んでくれた。その何百里が今では、何とほんの二時間。

今朝八時半頃家を出て京都から新幹線「のぞみ」で上京。読書するなら一番軽い文庫本。眠気に誘われれば程よいお昼寝の時間。新年早々、日常から解放された主婦の一人旅の何と爽やかで自由な非日常だろう。

車が行き交い人々が、群れ歩く。そんな光景は、浪速も江戸も同じ。けれどどこか違う。それは、「秀吉」と「家康」の持ち味の違いだろうか。と書いてみて、ああ、きっとそうなんだ。我ながらうまい比喩だと感心した。かと言って特に家康さんや、秀吉おっちゃんに心を入れあげているほど歴史に詳しいわけではない。どちらかと言えば、知識や教養より人間誰しもが持っている感覚を先行させる私の思考回路のせいなのか。

「鳴かぬなら殺してしまえほととぎす」織田信長。「鳴かぬなら鳴かせてみせようほととぎす」豊臣秀吉。「鳴かぬなら鳴くまで待とうほととぎす」徳川家康。

成程、日本人ならだれでも知っているこの三人の武将。ものの本や、映画やテレビ、そのおびただしい物語の中に登場するこのお三方の個性の違いが、如実にあらわれている三つの言葉。これも又、うまい比喩である。信長はさて置き、江戸と浪速の昔から培われてきた精神が、今なおどこか底流に流れている東京と大阪。

折も折、世界万博が大阪で開催決定のニュース。テレビで歓喜する為政者と街中のおっちゃんやおばちゃんの姿が、画面一杯に広がる。我々庶民の想像を絶する莫大な費用を要する万博。そんなに諸手を挙げて喜んでいいものだろうか。増える高齢者や、認知症、障害者の問題。恵まれない子供達や、外国人労働者達の生活。そんないくらでもお金の必要な事が目の前にあるだろうにと考える日本人は、私一人だけではあるまい。と思いながら、だからどうするという良案もない。かといって、デモに参加したり街頭で訴える体力もない。何時かあるだろう選挙の権利もたった一票だけ。それならいっそ万博でも開いてわあわあ騒ぎ、なけなしのお金を注ぎこむか、となるのが人間の浅智恵か。

戦後今まで、平和が続いてきた日本。オリンピックは東京で、万博は大阪でと世界にアピールするのもよいけれど、その繁栄からは程遠い貧困や病気で悩む人々を「殺してしまえ」はもとより「鳴くまで待とう」など悠長なことを言わず、何とか環境を整えて国民皆を悦びの声で鳴かせてみせる為政者はいないものか。今年から「年号」が変わるという新年の私の思いである。

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」（つげ書房新社刊）などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」「大阪府民カレッジひらかた校」等講師。著書『私の中の瀬戸内寂聴』『もぐらの目』など。「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の代表。

明るい自閉症講座（5）

作　くろねこ七桜

シリーズ『作らずにはいられない』（11）　電光掲示板

人類は“作る”動物だ。石器時代から営々と、自らの手を使い、様々なものを作り出し続けてきた。あふれるほどのモノたちが簡単に手に入る文明の時代に生きる私たちだが、ふいに先祖返りのように“作る”衝動におそわれるときがある。

このシリーズは、そんな「作らずにはいられない」、ひとりの男の記録である。

個人的なことですが、昨年はなんとか「定年」の日を迎えることができ、働き方が少し変化する、節目の年となりました。

時間に余裕が出来たら、アレもしたい、コレもしたいと思っていたのですが、思っていたほどいろいろは進まないのは世の常でしょうか。でもその中で、ひとつ新しくはじめたのが、以前から興味を持っていた、趣味の電子工作です。ちらっとかじったところですが、これが面白い。簡単な電子工作と簡単なプログラミングで、安価にいろんなことができることがわかりました。遊んでいるうちに具体的な目標もできました。ポン菓子屋さんの模擬店の店頭に飾る、電光掲示板の作成です。世の中のＩｏＴ（あいおーてぃー）とかの流行に乗ってしばらくこれで遊んでみようかと思ってます。

（わたなべ）

わたしの「ヘアドネーション」体験記！

私が、ヘアドネーションのことを知ったのはたぶん５年～６年前だ。あるテレビ番組で「小児がん」のことをやっていて、治療中に頭髪が無くなることが、子ども達には本当に辛い、という。

大人でも、髪の毛が抜けることは辛い。私の実母を含め、身内の何人か「癌」を経験しており、「抗ガン剤治療時」頭髪が抜け落ちる様子を見ていた。特に「女子」には頭髪のない姿は「ショック」のようで、ただでさえ治療中はなかなか人に会う気になれないものなのに、益々人に会いたくない気持ちを助長する。大人でも嫌だが、子どもはもっと辛い。

そういった事を少しでも解消してくれるのが「かつら」だ。

しかも、人毛のかつらは自然な感じで違和感が少なく、人気。だが、やはり高額になるので、ただでさえ「治療費」が高額な癌の闘病中には購入できないのが一般的な子どもの癌（難病）患者さんを抱えたご家族だ。

そこで、ある美容室が、数年前に「お客様からカットして頂いた人毛を使ってかつらを作り、小児がんの患者さんにプレゼントした」ことから始まった、「ヘアドネーション運動」。

私は今回２回目で、それも「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」のイベント中にボランティア美容師の方にカットしていただいた。

会場で「ドネーション」の説明と壇上でのパフォーマンスがあり、「何方か参加してみたい人？？」とのアナウンスに、即決で挙手。

「もともとそのつもりで２年近く伸ばしてきたので…」というとびっくりされた。イベント中に「カット」してもらうなんて、生まれてはじめて！！

前回初めてドネーションしたのは２年ほど前で、「テレビ」で活動を紹介していた「中崎町の美容室」で直接やってもらったのだが、今回は、「カットのみ」やってもらい、自分でそのお店に郵送した。詳しいことは、最後に記す。

簡単なので、「頭髪ボランティア」にチャレン

黄色いカラス

江崎　正和

台風一過、刈り取りを終えた田に数羽のカラスが、落ちた穂の中の虫を漁って、折からの日の出の光で黄色く染まっている。その姿が、遠い昔、父に連れられて観た映画「黄色いカラス」と重なった。それは、主人公が終戦後六年ぶりに復員して来た父に馴染めず父も又仕事に必死で少年を構うこともない。その上少年に妹が出来た為母にも甘えられない。そんな少年は友達との喧嘩や親への反抗で鬱憤をはらしていたのだった。

ある日、その少年が、路上に落ちたカラスの子を見つけて持ち帰り、家族に隠れて世話をし、寂しさを紛らしていた。そのカラスの絵を図画の時間に描き、その絵を見た教師は、この絵には、子供の煩悶と寂しさが表れていると母親に告げる。母親はこの言葉に胸を突かれるが、父親には言えなかった。その翌日、他の事で父親に叱られカラスまで放り出された少年は、「お父さんの嘘つき、死んじまえ」と書いた紙を残して家を飛び出した。教師の言葉から息子の内面の寂しさを理解してやれなかった自分たちの過ちに気付き、やっと探しあてた息子を父は初めてしっかりと抱きしめる。確かこのようなストーリーだったと思う。反抗期の始まった小学校六年生の頃だった。愛情表現に不器用な親父がこの映画に重ねて私に伝えたかったのだと今になって思う。その親父も今は施設で寝たきりの日々。労わりの言葉の一つもかけたいのだが、親父同様不器用な私は、言葉や態度で表現できない。ごめんな親父、まだまだ元気でいろよ。そんな息子は古希を過ぎ父は昨年白寿を過ぎた。

「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」江崎正和さんの作品です。講師をつとめる鶴島緋沙子さんの推奨作品。

ジしてみたい方は、ぜひお願いしたい。今、癌をはじめ難病治療中の子ども達が増えている。子ども達に少しでも「笑顔」になってもらえるのなら、髪の毛伸ばすくらいのことは簡単だ。

ただただ、「自分の髪の毛を伸ばす」だけの超簡単な「癌患者さんへのチャリティー」。気負わず誰でもできる。

強いて言えば、髪の毛を３０cm以上伸ばすのにはなかなか日数が必要(１年～２年)で、伸ばす途中でのヘアースタイルが私の場合はワンパターンで「ポニーテール」か「お団子頭」だったので、楽しくなかったし、やはり夏場は毛が長いと暑い、そして、洗髪後乾きにくいが…。それくらいの我慢で、誰にでもできるボランティアです。

＊　＊　＊　＊　＊

リレー・フォー・ライフ・ジャパンとは

https://relayforlife.jp/

がん征圧、患者支援24時間チャリティーイベントのことです。

私が参加して「ドネーション」を行ったのは、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン２０１８大阪あさひ」と言う、大阪市旭区でのイベントです。

10月7日14時～ 8日14時までのイベントで、参加者が交代で会場内のコースを「24時間徒歩」し、バトンを繋いで行くイベント。ステージでは、色々な催物があり、その一つに「ドネーション」の情報提供のグループによる「ステージ上でのパフォーマンス」がありました。

（文　岸下洋子）

ＬＩＰが選ぶ

今月の五行歌

11月の雨あがり
稲わら散らばる田の
切り株から青々とひこばえ
水たまりに灰青の
空が映る

桑本明枝

知らず知らず
助言が
指図に
なっているらしい
わたしの　圧

さなぎ

想像してご覧
四十年前
口やかましい親たちも
1時間以上電話した
カップルだったんだよ

天河童

五行歌（ごぎょうか）とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会(連絡先：090-5893-5635)が、月一度、歌会を行っています。その作品の中から、ＬＩＰ編集局が「気になるうた」を選びました。

～認めて！避難の権利　守ろう！子どもの未来～

原発賠償京都訴訟控訴審第１回期日の傍聴に行きました。

12月14日(金)大阪高等裁判所で、原発賠償京都訴訟（以下、京都訴訟）の控訴審第１回期日が行われました。この裁判は、2011年３月の東京電力福島第一原子力発電所事故で福島県などから京都府に避難してきた人たち（現在56世帯172名）が「生活の基盤を失った」などと主張して、国と東京電力に対して損害賠償を求めたものです。巨大な津波を国と東京電力が予測できたかなどが争われ、本年３月15日一審は国と東京電力の責任を認め、原告のうち110人に総額約１億1000万円を支払うよう命じました。これに対して双方が控訴して、二審が始まりました。

この日傍聴を求めて集まった人は、125人。10時30分からの開廷を前に９時40分から50分の間に番号の入ったリストバンドが配られ、番号による抽選が行われ、選ばれた人たちには紫色の傍聴券が配られて法廷の傍聴が許されました。抽選に外れ法廷に入れない人のために、マウンテン貸会議室・大阪梅田ホール１で模擬裁判が開かれました。

法廷では、最初に原告の意見陳述。福島敦子原告団共同代表が、放射能に汚染された故郷から逃げざるを得なかった、苦渋の決断をして避難した原告一人一人に思いを馳せて、避難の権利を認めてくださいと、簡潔かつ心をこめて訴えました。次に原告側代理人から、「因果関係に関する控訴理由書」の告知（要旨）*と、「損害額認定に関する控訴理由」の告知（要旨）**。その後被告・国側代理人からパワーポイントによるプレゼンテーションが行われました。これまで書面だけで行っていた「巨大津波を予測できなかった」という主張を初めて法廷で直接行ったものですが、法廷の両脇にある画面に映し出されるパワーポイントは小さな字で書かれていて何が書いてあるのか読みづらく、また小さい声で早口で話される言葉ははっきり聞き取ることが難しく、聞いていてフラストレーションがたまりました。そのせいでしょう、国側代理人の発言が終わったとたん、原告席の一人が立ち上がり、被告側に向かって「責任逃れの言い訳じゃないか」というような発言があり、裁判長に「ここはそういう場ではありません」と言われ、原告代理人から「後日反論します」とのことで、閉廷となりました。

閉廷後模擬裁判の行われた会場で報告集会が開かれました。原告団共同代表からの挨拶に続き、支援する会の共同代表から過去の経験を振り返ってのお話、参加した原告12人から感想と決意の報告、関係諸団体からのアピールが次々と行われました。

大阪高等裁判所での京都訴訟の控訴審第２回期日は３月13日（水）午前11時開廷です。（とよたかあきえ）

＊「因果関係に関する控訴理由書」の告知（要旨）：原判決は公衆被ばく限度（年１ｍＳｖ）を規定した国内法を無視しており誤りである、原判決は４万Ｂｑ／㎡（放射線管理区域）という土壌汚染の意味を理解していない、等。

＊＊「損害額認定に関する控訴理由」の告知（要旨）：避難指示を受けた者の慰謝料に対し、区域外避難者の慰謝料が低額に過ぎる、区域外避難者も心身に深刻な不調を被っている、原判決はコミュニティ侵害を固有の損害とは認めていない、等。

イベント・サークル・ボランティア情報

知る権利ネットワーク関西　活動３０年史「情報公開賛歌」出版記念講演会　『文書管理は民主主義の基盤』

◆日時：2019年２月３日（日）13:30～16:30
◆会場：　マイドームおおさか（大阪メトロ堺筋線・中央線「堺筋本町」駅　１２番出口徒歩６分）
◆主催：知る権利ネットワーク関西
　連絡先：090-5045-5133（江菅）FAX 072-657-0170
◆参加費：800円（前売り／予約）、1000円（当日）

森友・加計学園問題における関連文書の隠ぺいや不当廃棄、決裁文書の改竄等々「情報隠し」が横行し、民主主義の基盤といえる情報公開制度、表裏一体にある＜公文書＞の管理システムが形骸化して、市民の『知る権利』は危機的状況にあります。そこで、三宅弘弁護士に、情報公開制度と表裏一体にある「公文書管理」について現状と問題点、あるべき姿を講演していただきます。

知的障害者を普通高校へ北河内連絡会の1月定例会のご案内

いよいよ、高校受験が迫ってきましたね。どこを受けたらいいか、どんな配慮受験が可能か、受験の準備のことなどいろいろ疑問や迷いも出てきますね。ご一緒に話し合いませんか。
また、今年の子どもの様子を振り返って、来年は、どうしようか等お考えの方も、是非お互いに悩みをだし合って、力にしていきましょう。

◆日時　１月２７日（日）　１時半～５時
◆場所　寝屋川市民会館　４階　１３会議室
◆内容
　１）今年の高校受験をめぐって
　２）3学期が始まって、子どもの生活と学校
　３）「医療的ケア」のいる子ども達を巡って
　４）卒業後の進路や生活
　５）その他何でも
◆会場費　1家族：100円
◆連絡先　松森：090-1960-3469　関山：090-2599-6162
◆主催　知的障害者を普通高校へ北河内連絡会

カウンセラー入門講座体験&説明会

カウンセラーの心の支援についての講座を開講します。心の支援はもちろん、自分の生きやすさの発見にも繋がります。詳しくはホームページをご覧ください。講座の体験と説明会を行いますので、ご希望の日時と場所を電話で申し込んでください。

◆日時：1月25日（金）10：00～11：30
　場所：楠葉生涯学習市民センター
◆日時：1月29日（火）
　　10：00～11：30（午前）
　　19：00～20：30（夜）
　場所：ラポールひらかた
◆日時：1月30日（水）10：00～11：30
　場所：交野市立青年の家
◆日時：1月31日（木）10：00～11：30
　場所：アルカスホール
◆申込・問合先：ＮＰＯ法人京阪総合カウンセリング
　TEL 072-814-7140　http://www.npo-ksc.net
◆参加費：無料

音楽でリフレッシュ！

快い音でゆったりとした楽しい時間を仲間と一緒に思いっきり声を出して心身共にリフレッシュしませんか？

◆日時：１月17日（木）10：30～12：00
　場所：サンプラザ生涯学習市民センター　５階視聴覚室
◆日時：１月26日（土）13：00～14：30
　場所：南部生涯学習市民センター　２階音楽室
※参加費：500円（初回無料）
※申し込み・問合先　音楽でリフレッシュ！　　担当：中嶋
　　ＴＥＬ：０７２－８４０－５４９３

同じ立場どうしで話しませんか？
精神障害を持つ方の配偶者・パートナーの集い

■日時：１月13日（日）午後１時30分～３時30分
　※その後も奇数月の第２日曜に開催（３／10、５／12、７／14、９／８、11／10）
■場所：アネックスパル法円坂　１階　大家連事務所（大阪市中央区法円坂１－１－35）
■参加費無料　事前申し込み不要
■主催：公益社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会（大家連）　電話 06-6941-5797
　　メール info@daikaren.org　担当 木村瑛子

精神障害を持つ人の配偶者・パートナーの人たちがつながり、語りあう場です。他の場ではなかなか理解してもらえない思いや体験を、同じ立場どうしでわかちあいませんか。お互いに抱えている悩みがあれば、解決のための手だてをいっしょに考えていきましょう。家族会の会員でなくても、配偶者・パートナーの立場の人ならどなたでも参加できます。

ＮＰＯ法人大阪府民カレッジ「ひらかた校」
２０１９年度３期受講生募集

学習しながら健康づくり、仲間づくり、シニアの社会・人生経験を活かし世代間交流を学ぶシニアを支援する講座です。

◆講座期間：2019年４月～2020年３月
◆申込期間：2018年10月１日（月）～2019年２月28日(木)
　（定員になり次第締切り）
◆申込方法：申込書を郵送又は持参
◆講座内容：私たちの街、歴史・文化・コミュニティーを仲間とともに学びます。
◆募集要項：市内生涯学習市民センター等の各施設に配架済み、又は、下記問合せ先に一報いただければ郵送いたします。
◆受講料：年間26,000円（年間26回）
　校外学習・実習材料費など別途負担あります。
◆授業日：水曜日
◆問合先：ＮＰＯ法人大阪府民カレッジ事務局　〒540-0006
大阪府大阪市中央区法円坂1-1-35大阪市教育会館内
TEL：06-6360-4565　FAX：06-6360-4410

下記にて説明会を開催いたします。
日時：2019年１月12日（土）13:30～15:00
　　2019年１月13日（日）13:30～15:00
　　2019年１月19日（土）13:30～15:00
場所：メセナひらかた会館５階　会議室
最寄り駅：京阪枚方市駅　歩５分　　参加費：無料

「小さき声のカノン」（鎌仲ひとみ監督）上映会のお知らせ
星ヶ丘洋裁学校７０周年記念事業

2011年の東日本大震災で福島原発事故が起こり、大量の放射性物質が飛散しました。子どもたちを被曝から守りたいというお母さんたちが中心となり、毎年たくさんの子どもたちが「保養」に参加しています。震災から7年以上が経過し、何故保養が必要なのか、保養とは何か、映画を通して一緒に考えていきませんか？

＊日時：１月14日（月）２回上映
第一回 13時～15時 定員15名（＊第一回は子連れ親子が優先）
第二回 16時～18時 定員15名
＊会場：星ヶ丘洋裁学校ソーイングギャラリー
〒573-0013 大阪府枚方市星丘２丁目１１－１８
＊鑑賞料：大人 1000円（ぜんざい付き）中学生以下 無料
こども同伴可能（小さいお子様をお連れの方はなるべく第一部で）
＊申込先：メール　atelier.min.events@gmail.com
　携帯：090-3130-1759（たかはし）
＊主催:原っぱアトリエ　　協力:保養の旅えんむすび

LIPは、次の場所に置かせていただいてます。

☆ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
☆ 枚方市ボランティアセンター ［ラポールひらかた内　072-841-0181］
☆ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた ［枚方市招提南町 2-50-1　072-850-4400］
☆ コミュニティーカフェ ラ テール ［枚方市西禁野 1-3-27 禁野口バス停前　072-848-0418］
☆ NPO法人 りりあん ［枚方市長尾元町 6-39-15　lilian@kcat.zaq.ne.jp］
☆ 婦人洋品店 シャルム ［枚方市南楠葉 1 丁目 2-16 くずは公民館向かい　072-850-1362］
☆ 喫茶 Dik Dik ［枚方市岡本町 8-17　072-846-5377］
☆ 街かどデイハウス 藤阪愛逢 ［枚方市藤阪元町 2-27-1　072-855-6978］
☆ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび ［枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203 号室　072-856-9177］
☆ 泉屋 楠葉店 ［枚方市楠葉並木 2-2-2　072-868-3060］
☆ WAVE34(ボウリング場) ［枚方市田口 4-11-8　072-848-0450］
☆ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ ［枚方市堤町 2-1-103　072-861-6360］
☆ 京阪総合会計事務所 ［枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301　072-805-5252］
☆ ヘアースタジオぱぺぽ ［枚方市南楠葉2丁目 4-3　072-850-9070］
☆ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) ［枚方市大垣内町2丁目 1-20　072-841-1221］
☆ 枚方市役所 津田支所 ［枚方市津田北町 2-25-1　072-858-1502］
☆ (財)枚方市文化国際財団 ［枚方市岡東町 8-33 市民会館内　072-843-1122］
☆ 枚方市総合福祉センター ［枚方市津田東町 2-26-1　072-858-5835］
☆ (社福)やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぱぴるす ［枚方市大字尊延寺 2200　072-859-0245］
☆ NPO法人パーソナルサポートひらかた ［枚方市中宮山戸町 10-12-105　072-848-8825］
☆ 自閉症療育センター Link ［枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階　072-841-2411］
☆ 紅茶専門店VIE ［枚方市南楠葉 1-1-34　072-856-2355］
☆ shot bar カボチャソース ［枚方市牧野下島町 14-22　072-809-7676］
☆ 「市民の広場」ひこばえ ［枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館 A 室　072-846-8780］
☆ ポパイ商店 ［枚方市山之上2丁目 16-9　072-846-7232］
☆ えほんのお部屋ひまわり畑 ［枚方市香里ケ丘 12 丁目 6-28　090-6739-7064］
☆ クッキー工房おれんじはうす ［枚方市交北3丁目 3-10　072-856-8378］
☆ 陶器食器のお店 a new sprout ［枚方市堤町 2-14　072-846-9550］
☆ 雑貨／カフェ ルポ・デ・ミディ ［枚方市堤町 10-12　072-843-1525］
☆ 渦潮ベーカリー楠葉店 ［枚方市町楠葉 1-30-6　072-856-5420］
☆ 輝きプラザ「きらら」 ［枚方市車塚 1-1-1］
☆ 教育文化センター ［枚方市磯島北町 37-1　050-7102-3150］
☆ 三代目たくちゃん ピーコ ［枚方市牧野阪2丁目 7-30　080-3785-1728］
☆ MIKIHOUSE キャラメル ［枚方市牧野阪 2-9-15-105　072-857-6626］
☆ 株式会社 丸天酒店 ［枚方市牧野阪 2-5-23　0120-39-7003］
☆ MogaJogaDining 枚方宿 ［枚方市堤町 2-15　072-846-3535］
☆ カフェレストラン風鈴火山 ［枚方市牧野阪 2-5-19　072-856-3799］
☆ とくふうホーム ［枚方市大字尊延寺4592−24　072-858-4058］
☆ 音楽療法スペース　ウッドヴィレッジ ［枚方市牧野下島町 9-12　070-857-3540］
☆ みんなでつくる広場「ちょこっと」 ［枚方市楠葉野田 2-30-8　072-856-9439］
☆ スパバレイ枚方南 ［枚方市津田山手 1 丁目 24-1　072-808-4126］
☆ やすらぎの丘霊苑 ［枚方市大字尊延寺 4588 番 4　072-896-1212］
☆ 苺のいえ ［枚方市甲斐田町5番25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660］
☆ ちいさいほいくえん みんなの里 ［枚方市楠葉並木 2-28-4　072-845-6814］
☆ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 ［西禁野 1-6-28　072-848-8481］
☆ くずはアートギャラリー ［枚方市楠葉花園町 15-1-Z302 本館ハナノモール 3 階］
☆ カフェ ル ポン ［枚方市高田2丁目 20-17　072-396-8785］
☆ 街かどデイハウス秋桜 ［枚方市宗谷 1-1-1　072-859-3991］
☆ 明日花障害者作業所 ［枚方市西禁野1丁目 3-18　072-848-2324］
☆ 陽だまりの会 ［枚方市交北 2 丁目 7-15　072-809-0015］
☆ Lin Brun. ［枚方市牧野下島町 18-7　072-865-3514］
☆ カミュゥ ［枚方市牧野下島町 13-11　072-865-7310］
☆ Grand Table ［枚方市山之上 1 丁目 12−10　072-846-3808］
☆ 尊延寺公民館 ［枚方市尊延寺 3 丁目 3－16　072-859-0168］
☆ ひねもすぱんのかふぇ［枚方市堤町 10-24 鍵屋別館 1 階 090-5963-0590］
☆ まことの豆富 燈 本店 ［枚方市楠葉中町 1-5 072-855-6022］
☆ 雑貨&cafe くろねこ・くぅ ［枚方市片鉾東町 20-1　072-896-9690］
☆ 京阪総合カウンセリング ［枚方市新町 2-1-9 ほーむ 21 新町 106 号 072-814-7140］

◇　◇　◇　◇　◇

New

☆ フレッシュベーカリー ラッキー ［寝屋川市早子町 18-1　072-821-0413］
☆ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ ［交野市天野ヶ原町2丁目 14-20］
☆ むく福祉会 ワークホーム れっつ ［綴喜郡宇治田原町贄田船戸 38-1　0774-88-5846］
☆ ベビーフェイスプラネッツ松井山手 ［八幡市欽明台北1 ソフィアモール内　075-982-3271］
☆ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ ［大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F　06-6885-8475］
☆ ふらっとねやがわ ［寝屋川市東大利町 2-14（市立産業振興センター5 階）　072-800-5789］
☆ ふれあいプラザ香里 ［寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店1階 072-835-3335］
☆ ヘアーサロンおおまち ［交野市私部3-17-2 072-891-5024（予約優先）］
☆ 交野市役所内わいわいネット ［交野市私部 1 丁目 1-1］
☆ 和食「ふる里」 ［三重県伊賀市長田 2541-1 0595-21-4498］
☆ Cut wa Coconi ［交野市梅が枝 55-13 072-893-0020］
☆ 大阪府衛生会附属診療所 ［高槻市奈佐原 955　072-696-3351］
☆ 宇治田原社会福祉事務所 ［綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2　0774-88-2394］
☆ 西宮男女共同参画センター ウェーブ ［西宮市高松町 4-8　0798-64-9495］
☆ 大東市立生涯学習センター アクロス ［大東市末広町 1-301　072-869-6505］
☆ フェルデンハウス北斗星 ［寝屋川市萱島東1丁目 16-15　070-5435-1965］
☆ 青年の家 ［交野市私部2丁目 29−1　072-892-7721］
☆ 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
［大阪市中央区大手前 1 丁目 3-49 06-6910-8500］

イラスト　表紙：平井由恵

応援ありがとうございます♪

ＬＩＰ応援団

大阪府民カレッジひらかた校鈴木紀男さん

ＬＩＰ会計報告（前号以降）

金額(円)	内容
32, 792	前号から繰り越し
3, 000	応援団寄付
▼280	郵送代
▼500	１１月ロッカー代
▼4, 120	１１月号印刷代
30, 892	計（次号へ繰り越し）

「枚方自閉症児(者) 親の会」３月例会

✱日時：３月１日（金）　10 時～12 時
✱場所：ラポールひらかた　４階共用ルーム
✱連絡先　松崎　072-945-3014
　　鬼塚　072-841-3515

天の川とんどまつり

✱日時：1 月 13 日（日）　10 時 30 分から 14 時頃
✱場所：天津橋（天野川）上流河川敷
しめ縄、しめ飾りなどお正月の飾りをご持参ください。ぜんざい、東日本大震災・熊本被災地支援ブース、短冊書き初めなどあります。
✱参加費：無料（運営のためのカンパは大歓迎！）
✱主催：天の川七夕星まつりの会

【参加者募集】アートワークセラピー体験講座

クレヨンやパステルなどを使って、自由にのびのびアートワークを楽しみましょう。
✱日時：１月９日（水）13 時 30 分～15 時
　　ラポールひらかた３階　和室
✱講師：小田美恵さん
　アートセラピスト
　アートワークセラピー教室「こころんば」主宰
✱定員：15 人　（先着順。要予約）
✱参加費：無料
✱申込み・問合せ：090-5893-5635（とよたか）
　　c-k@love-dugong.net
✱主催：放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」
＊この講座は、枚方市社会福祉協議会福祉活動助成事業の助成を得て行います。

ひらつー
「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト
枚方つーしん　検索